

しびれ外来と脊椎の手術について

メディカルシティ東部病院 脳脊髄センター 中野 真一

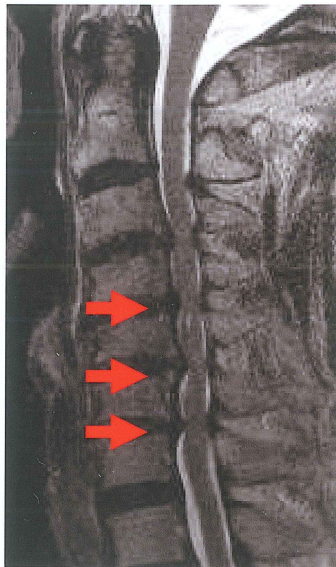
<しびれ外来>

手足のしびれや痛み、力が入りにくい、歩きにくいなどの症状がある場合、脳の病気ではなく頸椎や腰椎などの脊椎の病気の可能性があります。診察して脊椎・脊髄のどこが悪いのかを診断して、頸椎や腰椎のレントゲンやCT、MRIを行います。手術が必要な場合、脳神経外科医が顕微鏡を使って脳の手術と同じような細かな手術をするので、小さな傷でより安全な手術ができるようになっています。日本では「脳外科」と略してしまうので頭の手術しかしないと思われがちですが、「神経外科」ですので脊髄や坐骨神経の手術も行っています。手術の傷が小さいので、手術翌日から歩行可能で、入院期間は10日～2週間程度です。肩や腕が痛い、腕が挙がらない、腰痛や坐骨神経痛がひどい、長く歩くことができないなどの症状でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

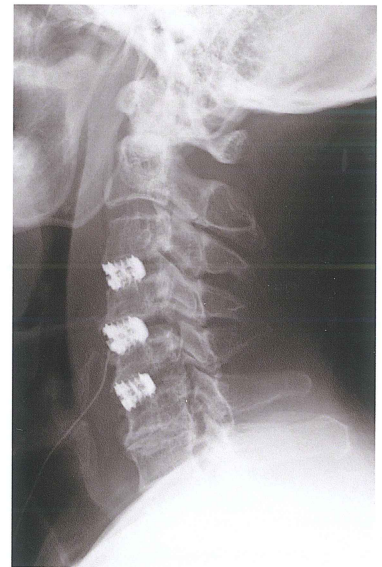
頸椎症性脊髄症



術前：後彎変形



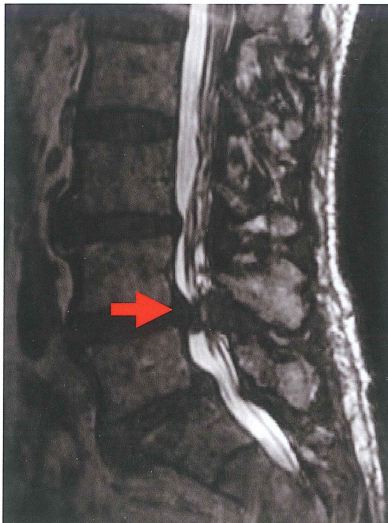
脊柱管狭窄・脊髄の圧迫



術後：頸椎の並びが改善

チタンケージを用いた前方固定術（術後歩行障害が著明に改善し、肩凝りや頭痛も消失）

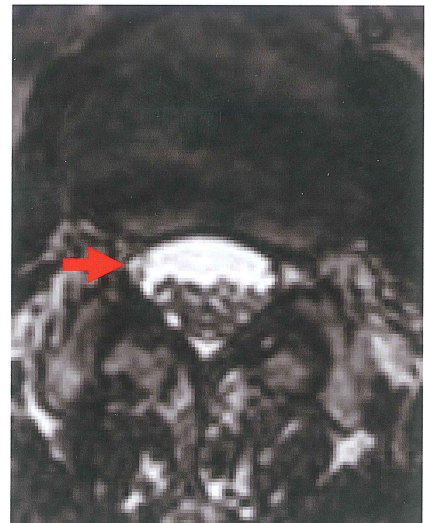
腰部脊柱管狭窄症



腰部脊柱管狭窄症



狭窄部位



正常部位

椎間板ヘルニアと黄色靱帯の肥厚により神経が著明に圧迫されている（術後歩行障害が著明に改善）